

『平成24年度空知青年農業者会議』を開催！！

平成24年12月5日、各青年農業者が活動成果を発表する「空知青年農業者会議」が空知総合振興局の講堂で開催され、当日は農業青年や関係者等合わせて100名近い参加がありました。

午前中はアグリメッセージの発表が行われ、7名の青年農業者が、日頃考えていることや実践していること、農業への思いなどを発表しました。

午後からはプロジェクト発表が行われ、園芸・特産作物、地域活動、土地利用型作物の3部門に7名の参加があり、各個人・グループが、それぞれ試行錯誤を繰り返して成し遂げたプロジェクトについて発表しました。

また、スガノ農機株式会社の石垣秀樹氏が『異常気象に負けない排水対策』をテーマに、暗渠設置の必要性や有機物循環農法に基づいた土作りの大切さについて講演を行い、皆真剣に聞き入っていました。

参加者それぞれが今後の農業について考えることができ、大変有意義なひと時になったと思います。皆さん、おつかれさまでした！



《受賞者》

－アグリメッセージの部－

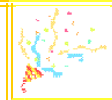
最優秀賞 西野 恒 (栗山町4H) 『我が家の食料自給率』

－プロジェクト発表の部－

最優秀賞 廣岡 裕樹 (栗山町4H) 『鯉鈍七 Udon seven～栗山町から始まる鯉鈍物語～』

優 秀 賞 長嶋 真也 (由仁町4H) 『未来につながる4年間』

優 秀 賞 河村 将史 (南幌町4H) 『4H流★きたほなみの作り方 Part 2』



『平成24年度北海道青年農業者会議』報告

平成25年1月16日、17日の2日間、札幌市の北海道大学学術交流会館で「北海道青年農業者会議」が開催されました。

空知管内からは、アグリメッセージの部には西野恒さん(栗山町4H)、プロジェクト発表の部には、地域活動部門に廣岡裕樹さん(栗山町4H)、園芸・特産作物部門に長嶋真也さん(由仁町4H)、土地利用型作物部門に河村将史さん(南幌町4H)が出席し、それぞれの部門で素晴らしい発表を行いました。

結果は、河村将史さんの発表が土地利用型作物部門で優秀賞を授与されました。また、本人が当日病欠するというアクシデントもあったものの、長嶋真也さん(代理:早川忠師さん(由仁町4H))の発表が園芸・特産作物部門で最優秀賞を授与され、「第52回全国青年農業者会議」への切符を手に入れました。

なお、今回の会議の様子は動画サイト「USTREAM」で配信されておりますので、是非ご覧ください。



加盟4Hクラブの紹介

現在、南幌町4Hクラブは20人のクラブ員で活動を行っています。

基本的な活動は、水稻班・畑作班・そ菜班・大豆班を構成し、ゼミナールとしてそれぞれやりたい分野に属して実際にクラブ員の圃場に出向き、調査・研究しています。

そして、本クラブではクラブ員間の連絡手段にメーリングリストを採用しています。ゼミナールでの調査過程や生育期、例会の周知、害虫や病気への注意の呼びかけなどをクラブ員全員に伝えています。

今年も4H通信を発行しており、町民の皆さまに南幌町4Hクラブ員の日常を発信しております。

山も森もない、平らな町ですが、四角く整備された農地で、今日も未来に向かって活動を行っています。



『第52回全国青年農業者会議』報告

平成25年2月28日と3月1日に、東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターで「全国青年農業者会議」が開催されました。「北海道青年農業者会議」で最優秀賞を受賞した4名が出場権を得ることができ、空知管内からは平成21年度以来3年ぶりで、長嶋真也さん（由仁町）が出場しました。

全国レベルの大会だけあって、すぐにでも経営に活かせる発表や、地域への波及効果がある発表などが出揃っていました。

残念ながら入賞は逃しましたが、全国の個性豊かな発表にも引けをとらない、見事な発表でした。

◀長嶋 真也さん（由仁町）の感想▶

今回全国青年農業者会議に参加出来てとても良い経験をしました。

北海道を越えての意見交換会はめったに経験できません。この経験をこれからの農業経営に役立てて行きたいです。



『青年農業者活動』のすゝめ

平成24年1月31日～2月2日に北海道青年農業者会議が開催されましたが、全国農業青年交換大会も併催されました。これは全国8ブロック（北海道、東北、北陸、関東、東海、近畿、中四国、九州）の持ち回りで開催されており、北海道では平成元年以来の24年ぶりの北海道大会でした。これは、唯一の1ブロック1県というハンデを考慮され、開催当番を長年免除されてのことでした。当時は天皇陛下も出席されるという大きな大会でしたが、現在は知事が出席されています。ちなみに北海道知事は、公務多忙により出席されませんでした。

北海道ブロックの次は北陸ブロックが当番となり、平成24年11月7～9日に富山県にて開催されましたが、不思議なことに、年1回開催なのに今年は2回の開催となりました。これは、どのブロックも青年農業者会議と併催するのですが、大抵は年内の12月までに農業者会議を行うのに対し、北海道は年度内の翌年2月までに開催するためこういった現象が起こります。ちなみに関東ブロックも似たような形ですが、関東は翌年の夏までという変わった特徴を持っています。

全国農業青年交換大会は、空知青年農業者会議とは比べものにならない程の大きな大会で、それだけに全国規模で農家同士の交流が出来る大会でもあります。必ずしも経営に直結的な利点を保証するものではありません。しかし、若いうちだからこそ、我が家の農作業を投げてでも参加することを強く推奨します。我が家の農業は60歳でも出来ますが、青年農業者会議や全国規模の大会も同じように出来ますか？

◀石川 卓也（南幌町）▶

今期も皆様のご協力により、無事一年を終えることが出来ました。

4月からは空連役員会も新体制となり、夏季研修会や青年農業者会議などの行事に向けて活動していきます。来期もよろしくお願いたします。